

ケアタウン成増 スタッフインタビュー2020



特別養護老人ホーム：介護職・看護職



デイサービスセンター：介護職・機能訓練指導員・運転手



訪問介護：サービス提供責任者・登録ヘルパー



居宅介護支援事業・地域包括支援センター



働く職員の声是非
お聞きください!!



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.006 / 2020.10.6)

特別養護老人ホーム 介護職 (常勤)

久保 主任



1. 介護職を目指したきっかけ

学校で福祉を学んできましたが、色々な高齢者の施設へ実習に行かせていただく中で、私は現場の仕事があっているな、施設で働きたいなという気持ちになり新卒としてケアタウンに入職しました。

2. 業務をするうえで心掛けていること

一番は利用者様がどの様にして楽しく生活しているか。施設は利用者様が最後に暮らす場所でもあるので、ご自分の最期をどう迎えるかを一緒に考え、利用者様が一番いい形で生活出来るように支援したいと思っています。

3. 管理職となったことでの一番の違い

いままでは利用者様を一番考えて自分の中で仕事をしていましたが、主任になってからは、利用者様もそうですが、職員一人ひとりの事も考えながらチームとして仕事をしていかなければならないので、そこが一番の違いだと感じています。



4. 理想の管理職とは

まだ主任1年目で全然至らないところだけですが、先輩職員を見ていると、利用者様の介護の中でもそうですが、気付きが大事で利用者様のちょっとした変化に気付く先輩も多い中、私も利用者様だけでなく、職員一人ひとりの些細な困りごとだったり、悩んでいる事を気付けるような管理職になりたいと思っています。

5. どんなチームになりたいですか

今まさに感じているのですが、主任1年目で右も左も分からない中、上長もそうですが、副主任、フロアリーダー、そしてチームのメンバーが私をとっても助けてくれサポートして貰えているので、今後私も一緒に成長していく中でチームをサポートできるようにしていきたいと思います。

6. 一つの職場で積み重ねたもの

私は卒業後、ケアタウンが初めての職場で、私が知っている介護力というのはここで学び得たものなのですが、やっぱりここで教わったこともそうですし、途中から一緒に働くことになった職員や、色々な方から得た知識を織り交ぜながら、自分の中で信念というか曲げられないもの「介護に対する思い」を培ってきました。今後はそれをみんなにも伝えたいし、自分の中で大切にしていきたいと思っています。

7. 地元の職場で働き今思うこと

理事長もブランディングの中で仰っていますが、「何かあったらケアタウンに来れば何とかなる」と思っていただける施設になりたいですし、地域の中にそういう施設があることは、とても大事というか地域の人には心強いことだと思うので、いつでも足を運んでいただける様な開かれた施設を目指したいと思っています。



特別養護老人ホーム 介護職 (常勤)

井上 さん



1. 介護職を目指したきっかけ

中学生の時に、介護体験をする機会があり、初めて車椅子の体験をして楽しく、そして感動したのを覚えています。選択の授業でも介護を専攻し、高校の時も進路で迷って恩師に相談したら「力もあるし誰にでも優しいから介護の道に進んでみたら」と後押しされたのがきっかけとなりました。

2. 業務をするうえで心掛けていること

利用者様との接し方です。時にはフランクな対応を取って、その姿を見て笑っていただいたり、楽しい印象を持っていただくことで、名前を覚えて貰ったり出来るように心掛けています。碎け過ぎて上長から注意されてしまうこともあります。…、利用者様の笑顔が私のやりがいに繋がりますので、利用者様との接し方、距離感を常に意識して、利用者様の笑顔を毎日見れるような、引き出せるような介護職を目指しています。



3. どんな職員になりたいですか

日々の活動の中で利用者様に楽しんでいただき、安心・安全の介護を提供できる職員になりたいと思っています。

4. 他職種との関係は

納涼会やその他施設全体で行う行事などの際に、他部署との関わりが多く、部署を超えてのチームワークの良さがとても良いと感じています。

5. チーム力が必要だと感じた出来事は

チーム力が欠けると全体の行事など成功させることは難しいですし、成功した時には職員も利用者様も皆がみんな、いい笑顔でいられるということはケアタウンのチーム力が高い事だと日頃から感じています。

6. 中堅職員としての苦労や気を付けている事

新人の育成や後輩の育成の場面で、自分の伝えたい事がうまく伝わらない事があります。上手く伝わらない時は一緒に考えることも大切にしています。やはり伝わらないと利用者様にご迷惑をお掛けすることになるので、「伝える力」を日々の業務の中で上長を見習い、習得出来るよう努めています。また、皆が相談出来るようなチームを作っていきたいと思います。



特別養護老人ホーム 介護職 (常勤)

藤山 さん



1. 介護職を目指したきっかけ

以前、他の職業に就いていた時に、ふと自分の仕事としてこれから何がやりたいのかを考えた時に、人のために役立つ仕事をしてみたいと思い、介護職員初任者研修を受講しました。介護を学ぶ中で介護の世界に興味を持ち、受講後に介護の仕事に就きました。

2. 業務をするうえで心掛けていること

利用者様は人生の大先輩なので、日々業務を行う中で、お話をさせていただいたり、お世話をさせていただく際には、敬う心を忘れないように心掛けています。日々模索中ではありますが、介護の仕事を通して自分自身も成長していきたいと考えています。

3. やりがいを感じることは

利用者様に、ふとした時に呼び掛けていただき、色々な相談をしていただけた時には、利用者様に信頼していただけているのかなと思います。とても嬉しく感じますし、やりがいにも繋がっています。



4. どんなチームにしたいですか

日々の業務の中で、まだ連携が取れていないと感じる部分もあるので、どんなに些細なことでも皆で話し合えるようなチームにしていきたいと思います。

5. 他職種との関係は

普段の業務では、他部署の方と接することは少ないのですが、行事等に関わった時に、色々と手助けしていただいたり、アドバイスをいただいたりします。他部署の皆さんが色々な所に目を向け、気遣う姿を見て、私たちよりも視野がとても広いななどいつも感じています。今年から、周りの方のサポートをいただきながら、接遇向上委員会の委員長を務めさせていただいていますが、自分自身、人をまとめる力がまだまだ不足していると感じています。これからも迷惑をかけることもあるかと思いますが、自分なりに接遇を向上出来るよう、委員の皆様と協力して頑張りたいと思います。

6. ケアタウンの魅力とは

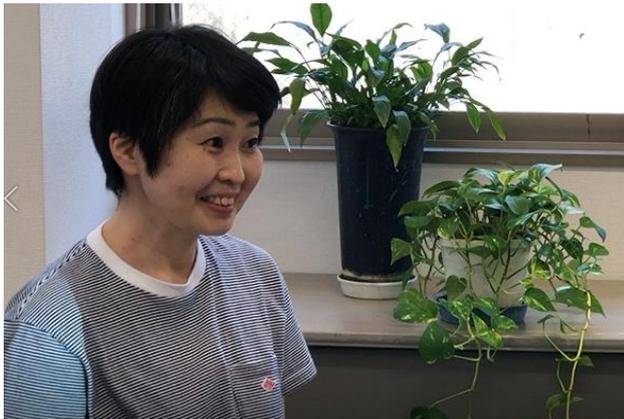
ケアタウン成増に勤め始めたきっかけの一つにもなっているのですが、資格取得支援や研修制度がとても充実していてスキルアップに繋がれることがとても魅力に感じています。日頃から「こんな研修もあるよ」等、声を掛けていただけるのも嬉しいです。



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.010 / 2020.10.21)

特別養護老人ホーム 看護職 (常勤)

渡辺 さん



1. 高齢者施設の看護職を目指したきっかけ

学生(高校生)の時、進路について考えていた頃、「今後は高齢化社会となっていく中で、看護師・介護士・医療従事者など高齢者に携わる仕事は何万人か人手不足になるよ」と言われました。その何万人の中のひとりとして、世の中の役に立つことが出来るかなと思い目指しました。

2. 看護の仕事をするうえで心掛けていること

個人の標語でも掲げている通り、利用者様と接する時は笑顔で丁寧にと考えています。笑顔で接した時に笑顔で返していただけることが、いちばん嬉しいことですし、丁寧に行えば落ち着いて行動できる。落ち着いて行動すれば、安全にもつながる。看護も介護も、必ず安全という土台の基で成り立っている仕事になりますので、丁寧に心を掛けています。

3. どんな看護職員を目指していますか

私はケアタウンに入職してまだ半年程度で、利用者様を深く理解は出来ていませんが、長年利用者様とお付き合いされている職員の皆さんのように、一人ひとりの利用者様のことなら何でも知っている、答えられる。そして安心していただける職員になればと思っています。

4. 他職種との関係は

24時間利用者様を看ているのはケアさん(介護職)なので、ケアさんからの情報はとても大切に思っています。具体的ではなくても「具合が悪そう」とか、小さな気付きが異常の早期発見につながるので、ケアさんに対しては、特にとてもリスペクトしています。ショートステイの方にも相談員の方々がいつも笑顔で対応され、利用者様のことをよく把握されていて、私にも的確なアドバイスをいただき助けられています。

5. チーム力が必要だと感じた出来事は

急変時の連携プレーにはチーム力が必要であると思っています。先日ある利用者様が誤嚥性肺炎で入院された時も、ケアさんがベッドから起こす時になんとかいつもより熱い気がするとの報告があり、看護師がすぐに体温測定し、そして介護リーダーから上長へと連絡され、受診から入院の運びとなりました。とてもスムーズに連携を取ることができチーム力を実感しました。

6. どんなチームになりたいですか

今後看取りケアを取り組んでいく中で、利用者様にとってケアタウン成増が終の棲家になるので、ご家族様がどのような形で送り出したいのか、また、利用者様はどのように送り出されたいのか、理想とする最期について個々の希望を伺いながら提案出来ればと思います。その為に私たちが何が出来るのかを、多職種連携で一緒に考え、創り出せるチームにしていけたらと思っています。



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.004 / 2020.10.6)

デイサービスセンター 介護職 (常勤)

今井 さん



1. 介護職を目指したきっかけ

もともとは幼児教育に興味があり専門学校に通いましたが、在学中の介護実習で高齢者と関わって、子どもの未来にもこの経験は伝えないといけないなという気持ちになり、保育園や幼稚園など進路は迷いましたが、卒業後は介護施設に入職することに決めました。

2. 業務をするうえで心掛けていること

介護経験としては通所介護が一番長いのですが、通所介護は施設に来て家に帰るというところで、限られた時間の中で、利用者様に楽しみや喜びを経験していただき、また来たいなと思っていただけるような介護を心掛けています。

3. どんな職員になりたいですか

楽しい事でも、ちょっと話にくい様な不安な事でも、気軽に話しかけても大丈夫と思っていただける職員になりたいと思います。そのためには日頃から利用者様と関わって、信頼を積み重ねていく必要があると感じています。



4. 他部署の印象は

この施設には包括支援センター、居宅支援事業所、訪問介護、特養もあり、その中でそれぞれが連携を取り合って施設全体が明るいなという印象を持っています。もちろん建物、施設の印象もそうですが、働いている人が、にこやかに仕事をされているなという印象です。

5. チーム力が必要だと感じた出来事は

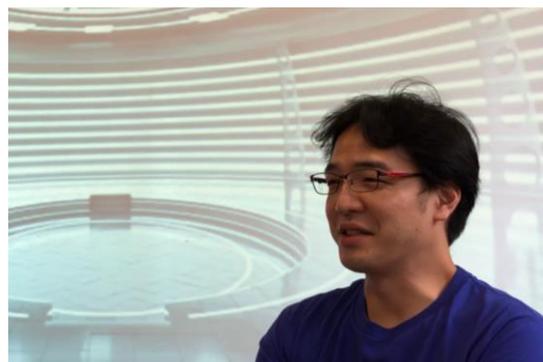
限られた時間の中で、入浴、リハビリ、レクリエーション等を提供するのがデイサービスの仕事ですが、日々提供しているサービスそのものがチーム力、毎日がチーム力の積み重ねだと感じています。

6. どんなチームになりたいですか

デイサービスのチームとして、利用者の皆様が楽しく通っていただくこともそうなのですが、ここに行けばあの人が、あの職員がいると信頼していただけるようなチームに今もそうですが、よりなっていければいいと思います。

7. 転職して今思うこと

転職した理由として地元で貢献したいという気持ちがあったので、何より近く、通勤に関して気がとても楽になりました。地域の方が来て下さるデイサービスなので、同じ話題で盛り上げられたり、そういうところで、嬉しく楽しく仕事をさせていただいています。



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.005 / 2020.10.6)

デイサービスセンター 機能訓練指導員 (常勤)

箱石 さん



1. 機能訓練指導員を目指したきっかけ

以前は接骨院に勤めていましたが、友人に誘われ紹介されて機能訓練指導員になりました。来所されて運動を頑張っている利用者の皆様を見て、自分の力にもなると感じ、現在も継続して機能訓練指導員として働いています。

2. 業務をするうえで心掛けていること

きつ過ぎる機能訓練は、つまらなくなって途中で嫌だなと感じられてしまうので、コミュニケーションをしっかりと取るようにしています。気の合う利用者様が一緒に訓練できるように、仲の良い方を誘って一緒にやってみるなど工夫をしながら、機能訓練を楽しくできる環境づくりを心掛けています。

3. どんな職員になりたいですか

利用者様としっかりコミュニケーションを取り、少しずつ情報を蓄積しながら、利用者様に合った機能訓練を行うことで、ADLや充実した生活を送るための手助けが出来る職員になりたいと思います。



4. 他部署の印象は

機能訓練以外のことで分からないことも多くあるので、他部署の方、相談員、看護師や介護職の方に聞いた際には、親切にしっかりと丁寧に優しく教えていただけるので、とても仕事がし易く、感謝しています。

5. チーム力が必要だと感じた出来事は

現在リハビリは一人で行っていますが、一人では時間が足りなかったり、回らないような時には、介護職、看護師、相談員の方々が手伝ってくださるのでとても助かっています。

6. どんなチームになりたいですか

チームの一員として、苦手な部分をフォロー出来たり、得意なことは積極的にフォローできるような、みんなで力を合せて協力できるデイサービスにしていきたいと思っています。

7. 転職して今思うこと

埼玉での就業経験はありましたが、ケアタウンには岩手からの転職になります。成増は自然も私の地元より草木が多い印象で、とても過ごしやすい環境ですが、虫にさされやすいので、蚊にたくさん刺されて大変に思うこともあります。交通の便も良く、優しい利用者様に囲まれ、快適な環境でとても充実して仕事をしています。



デイサービスセンター 介護職 (非常勤)

加藤 さん



1. 介護職を目指したきっかけ

親が段々と介護が必要な年齢になり、介護の知識を知らないよりは知っておいた方がいいと思い、介護職員初任者研修を受講しました。授業を重ねる度に、早く介護に携わる仕事がしたいと思って、思い切って転職しました。

2. 業務をするうえで心掛けていること

利用者様は様々な環境で生活していると思うので、デイサービスにいる時間は、少しでも楽しく安心して過ごしていただけるよう、寄り添う気持ちで接することを心掛けています。

3. どんな職員になりたいですか

介護は人と人との関りだと思えます。こちらの接し方で、気持ちが利用者様にすぐ伝わると思うので、思いやりのある介護が出来る介護職員を目指しています。



4. 他職種との関係は

デイサービスでは介護職の他に、相談員さん、看護師さん、リハビリの先生、ドライバーの皆さんが働いていますが、一つでも欠けると利用者様が安心して過ごすことが出来ないと思っています。私たち自身も皆がそろっているから安心して仕事出来るんだなと感じています。

5. チーム力が必要だと感じた出来事は

日々の業務でチーム力が必要だと思っています。デイサービスでは限られた時間で、活動や食事、入浴等のサービスを提供するので、限られた職員体制の中でやり遂げた時は、何とも言えない達成感があり、明日も頑張ろうという気持ちになります。みんなで目標に向かって一丸となれるチームになりたいと思います。

6. 転職して今思うこと

デイサービス職員のほとんどの方が、お子さんがいて、ご家族があって、子供や親の色々な用事等でお休みをされる時もありますが、そこはみんなでお互い様だと思いカバーを合っているのも、働きやすい職場だと感じています。自分自身も家族事情でお休みをいただくこともありますが、快く受け入れて下さるので仕事が続けられていると思います。



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.016 / 2020.11.24)

デイサービスセンター 介護職 (非常勤)

飯吉 さん



1. 介護職を目指したきっかけ

高校生の時に介護福祉の世界に興味を持ち、その時に地元の特養の夏祭りのボランティアに行き、その施設のご利用者様や職員の方がすごく楽しそうに過ごされたいたのが印象的で介護福祉の世界を目指しました。

2. 業務をするうえで心掛けていること

一番大切にしていることは、ご利用者様に寄り添う介護をするということを心掛けています。介護の仕事は信頼関係がすごく大事だと思っているので、仕事の合間やちょっとしたタイミングでもご利用者様とお話する様に心掛けています。

3. どんな職員になりたいですか

ご利用者様・ご家族様と距離の近い職員でありたいと考えています。ご高齢者の時間というのは人生の一番最後の集大成の時間だと思いますので、その時間がその方にとって輝かしい時間になるようお手伝いできればと思っています。



4. 自分の役職以外の方の印象は

デイサービスでは介護職の他に、看護師さんや機能訓練指導員さんや送迎の運転手さんがいらっしゃいますが、どの方も私にとってはとても心強い存在になっています。どの職種の方も私が持っていないような経験や知識がありますのでとても頼りにしています。

5. どんなチームにしたいですか

介護の仕事というのは職員の心の余裕が介護の質を上げていくものだと思います。

働いている職員一人一人が笑顔で楽しい職場になればいいなと思います。

6. やりがいを感じる時は

いつもお風呂に入るのが嫌で拒否をされる方がいらっしゃるのですが、何度も声を掛けていくうちに少しそのご利用者様と心の距離が縮まって、私の声に反応していただいたときは今までの積み重ねを感じ、すごくやりがいに思います。

7. ケアタウンの魅力とは

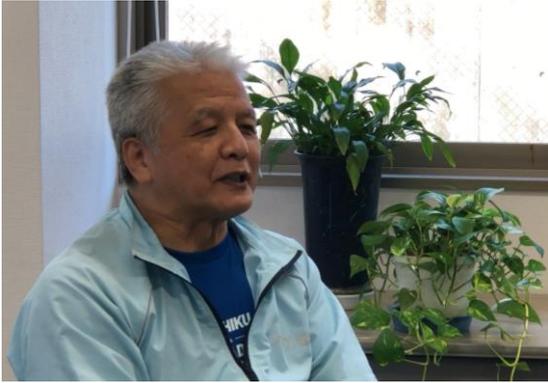
ケアタウンで働き始めて6年目となりますが、入職した当初はまだ子供が小学生であり、子供の急病や急用などで休むことがあったら迷惑になるでしょうと不安でしたが、上司や同僚からお互い様だから大丈夫だよと声を掛けていただいて、いざという時は休みを取りやすい環境にありとても感謝しています。



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.007 / 2020.10.21)

デイサービスセンター 送迎ドライバー (非常勤)

宮川 さん



1. 送迎ドライバーをはじめたきっかけ

高齢者施設の送迎ドライバーとして役にたてればと思い入りました。

2. デイサービス職員の印象は

皆さん細やかな気遣いで日々利用者様に接し、よく働いていらっしゃると思います。それに対して私はドライバーとして何が出来るのかなと最近よく考えています。何も出来ませんが、いつもニコニコしながら仕事をするようにしています。



3. ドライバーになって今感じていること

運転をしていれば済む仕事なのかなと思い入職しましたが、実際には利用者様とのコミュニケーション、お話しをしたり、一緒に笑ったりすることを大事に仕事をしていきたいと痛切に感じています。

4. 業務をするうえで心掛けていること

運転に関しては、やはり安全、安心、正確を心掛け、より慎重な運転を考えています。

5. どんなチームになりたいですか

僕が今感じているのは、6人のドライバー同士も、日頃からもう少し話し合う機会を増やし、コミュニケーションを取りながら、より連携した送迎を提供できればと思います。気持ち良くニコニコ仕事ができるよう今後も頑張ります。



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.003 / 2020.10.6)

訪問介護 サービス提供責任者 (常勤)

阿部 副主任



1. 介護職を目指したきっかけ

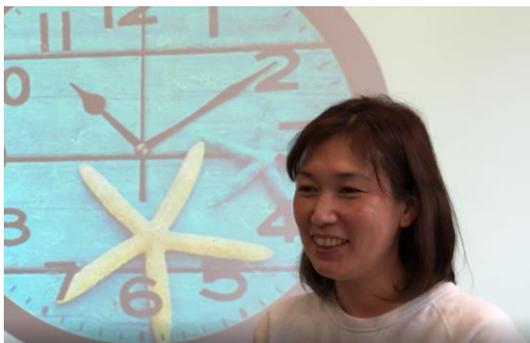
もともと子供が小さい時から毎日のようにバレーボールをやっていました。その中で仕事をはじめるにあたり、はじめはスーパーのレジをやっていましたが、友達がケアタウンでホームヘルパーとして働いていて、紹介してくれたのが介護職をはじめたきっかけです。

2. 業務をするうえで心掛けていること

理事長もよく仰る「ワークライフバランス」です。しっかり働きながらも趣味も大切にする。バランスはとても大事だと感じています。

3. 管理職としての不安

副主任になって感じる事は、立場上やらなくてはならない仕事が増えていますが、同じ部署の職員の日程の把握、登録ヘルパーさんの状況の把握を常に意識するよう心掛けています。相談を受けたり、こちらから指示を出す際に、言葉の言い方で人の気持ちは変わってしまうので、言葉の遣い方に対してとても不安を感じながらも日々勉強しています。



4. 管理職となったことでの一番の違い

今までは受ける側で、意見もやりたいことだけを伝えていけば良かったように思います。今はやりたいことがあるのであれば、それをどの様に皆さんに伝えていくか、またどの様に結果を残していくか、結果を出すことを踏まえて発言をしていかなければならないと考えるようになりました。

5. チーム力が必要だと感じた出来事は

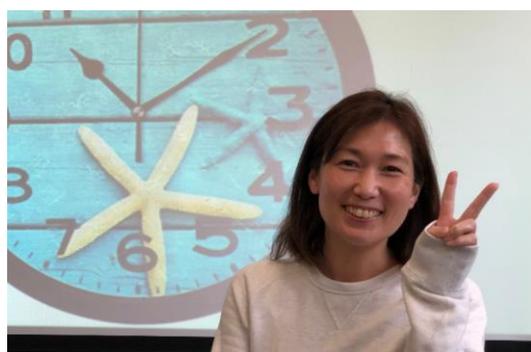
訪問介護の仕事では、急な対応を求められる機会が多く、色々な場面でチーム力が必要だと感じています。その中でも利用者様が急変された時に、「誰がどう動くか」というチームの連携が一番大切だと思います。実際にチームで対応した後も、次に向けて、もう少し改善したほうが良い点などを話し合っってチーム力を強化しています。

6. どんなチームになりたいですか

訪問介護のチームとして、今はまだ一人ひとりが学び中ではありますが、それぞれの意見を上手く取り入れられるようなチームになりたいです。そのために、個々がそれぞれもっと自分の意見を発信できるような話し合いの場をつくっていきたいと思います。

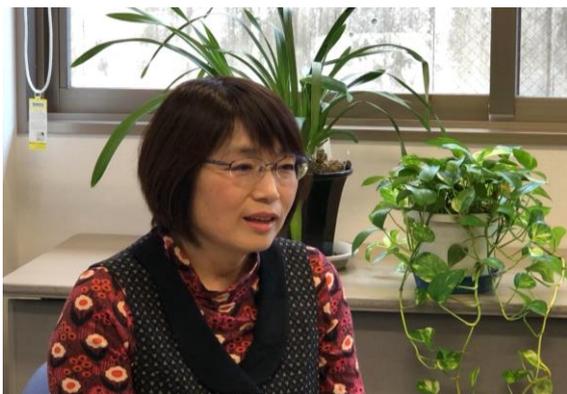
7. どんなサ責になりたいですか

訪問する機会が少ないので、利用者様からは少し忘れられがちな立場ですが、利用者様からは「あら、久しぶりね」と覚えていて貰える様な、居宅包括のケアマネさんからは、「阿部さんだったら大丈夫ね」と言ってもらえる様な、また、ヘルパーさんからも「阿部さんに言っておけば、何かしてくれるかな」と思って貰える様なサ責になりたいと思います。



訪問介護 登録ヘルパー

鈴木 さん



1. 介護職を目指したきっかけ

私の両親、そして夫の両親も健在で、いずれ介護が必要になった時に役に立つだろうと思い、介護の仕事をはじめました。

2. 業務をするうえで心掛けていること

その日の支援が終わった時に、利用者様にサービスを利用して良かったなと思って頂けるように尽くしています。「ありがとう」とか「きれいになって良かったわ」と言われると、やっぱり私も良かったと思いますし、それがやりがいにも繋がっています。また、わからない事や不安に感じる事は、必ずため込まず、何でも相談するようにして一人で悩まないように心掛けています。

3. チーム力が必要だと感じた出来事は

ひとりの利用者様に対し、複数のヘルパーが支援に入っている時に、お互いに連絡がしっかりと取れていると、「これはこうすればいいんだな」と状況が読めるので、チーム力の大切さを実感しています。



4. どんなチームになりたいですか

私は訪問介護ですが、在宅のサービスはイメージ的に、ケアマネさんを中心に、デイサービスやショートステイ、訪問看護等の方々が一つのチームとなりサービスを提供していると思っています。私はそのチームの一端として、連携を取りながらより良いサービスを提供したいと考えています。

5. 他部署の印象は

たまに私は、特養のフロアやデイサービスに行く機会があるのですが、職員の皆さんのお声掛けが優しく、利用者様にとって居心地がいいところなんだろうなと思っています。

6. ボランティア活動について

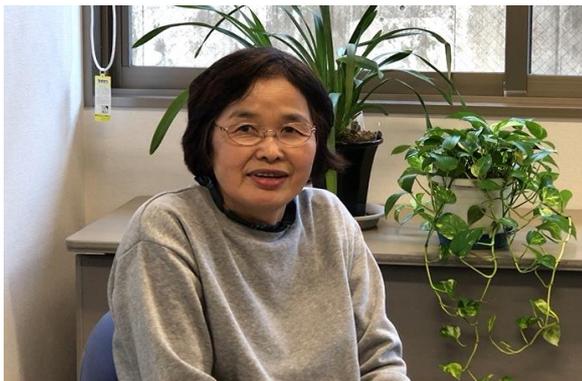
私はアコーディオンをやっていますが、「人前で演奏すると、一人で練習するより上手くなるんだよ」という事を聞き、ボランティアをはじめました。ケアタウンでも音楽療法のボランティアとして、先生のサポートからスタートしましたが、今は私のアコーディオンの演奏で利用者様に歌っていただく場面もあり、みなさんと一緒に一生懸命に歌う姿をみて、やって良かったなと思います。コロナ禍でボランティア活動が中止になっていますが、早く再開できるといいなと思っています。



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.012 / 2020.11.9)

訪問介護 登録ヘルパー

和田 さん



1. 介護職を目指したきっかけ

当時は他の業種の仕事をしていて、1日2日ちょっと仕事がない日があり、空いた時間で働ける仕事を探していました。ヘルパーの仕事が登録制で1日からでも働けるという条件と、両親も高齢だったので介護の仕事をしていれば何か役立つかなと思ったのがきっかけです。

2. 業務をするうえで心掛けていること

「コミュニケーションが大事」という言葉をよく聞きますが、普段の支援中から色々なお話をして利用者様に私の事を知っていただき、利用者様の事も知ることにより良い介護ができると思っています。色々なこととお話しして利用者様の気持ちに沿う介護をしていきたいです。

3. チームの力が必要だったできごとは

私たちヘルパーは何かあると、すぐに事務所のサービス提供責任者の方に連絡をして指導を受けておりますので、特にこの場面ということはなく、いつもいつもチームの力には助けられています。

4. 介護現場でのICT活用について

初めは覚えるのが物凄く大変でしたが、覚えてしまえばとても楽です。今までは家に帰ってから業務報告をする事もありましたが、支援が終わった時点で報告が出来るようになりました。前日の他のヘルパーの支援の様子等もラインワークスで共有出来るのでとても便利です。ヘルパーにとってとても有難いと思います。

5. 他部署の印象は

特養で食事介助の研修をさせていただく場面であったり、時々サービス支援中の利用者様宅にケアマネージャーが訪問される際等、他部署の職員の方とお会いすることがありますが、接した時には、本当に利用者様の事を考えて仕事をされていますし、私たちに対してもアドバイスやご指導をいただけるので、すごく良い雰囲気だと感じています。

6. やりがいを感じることは

利用者様が私の接し方や介護の仕方、提供したサービスに喜んでいただけると、とても嬉しいと感じます。また、利用者様が亡くなられ後にご家族様からお礼の言葉をいただくこともあります。そういった場面でもこの仕事をやっていて良かったと実感しています。

7. どんなヘルパーを目指していますか

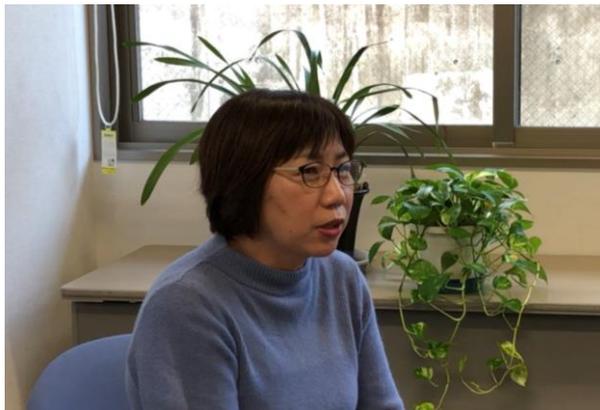
私たちは利用者様のお宅で、1回の訪問で30分から1時間一緒に時間を過ごしますが、何か不安だったり心配があった時には、何でも相談していただけるヘルパーになりたいです。その心配を解決出来るようなヘルパーを目指したいと思います。週に1・2回の支援から、現在は毎日のようにヘルパーとして仕事をさせていただいています。今後はまだまだ出来ない事も多いですが、家事援助中心ではなく身体介護の支援にも対応出来るようになりたいと考えています。



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.013 / 2020.11.9)

居宅介護支援事業所 ケアマネージャー (常勤)

嶋 主任

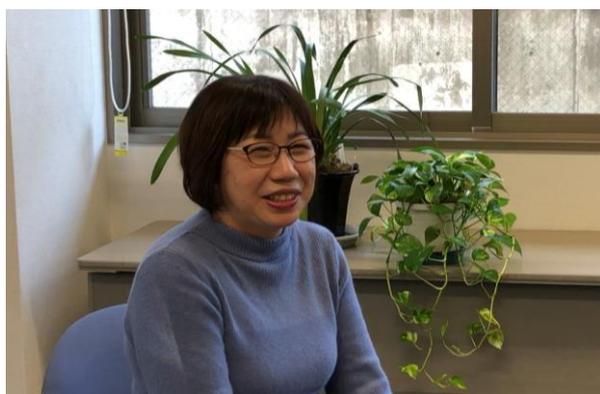


1. ケアマネージャーを目指したきっかけ

元々は学校を卒業して、管理栄養士として病院で仕事をしていました。子供を産んで少し仕事から離れた時期に、今後も資格を持ってずっと仕事を続けていきたいという思いがあり、介護支援専門員の資格を取り、今に至っています。

2. 管理職としての再就職について

7年間のブランクがある中、またケアタウンでみなさんに温かく迎え入れていただき復帰をしましたが、管理職としての復帰には不安を感じていました。転職前は包括支援センターの仕事に就いていたので、居宅のケアマネとしても2年ちょっとのブランクがあり、仕事内容も不安を感じる部分がありました。ありがたいことに、以前に努めていた時の居宅のメンバーと変わらない状況だったので、心強くみなさんに助けていただきながら管理職を務めさせていただいています。



3. 私が考える管理職の仕事とは

居宅のみなさんとは、7年前からお付き合いもあり、経験も豊富なメンバーなので、みなさんとの意見交換を大切にしています。皆で相談し意見を出し合える環境づくりが管理職として出来ればいいなと思っています。今後、新しいケアマネが入職してくることがあった際は、管理職として仕事のプロセスについては伝えていきたいと思いますが、ベテラン揃いのチームなので、私一人というよりは、チームの中で色々な事を吸収していただけるようバックアップしたいと考えています。

4. どんなチームになりたいですか

ケアマネージャーと言うと、一人で仕事するイメージがとても強いのですが、色々なケースをみんなで共有し、お客様に対してより良い支援ができればいいなと思っています。理事長もよく「チームケアタウン」と仰いますが、皆で話し合いが出来る環境を大切に「チーム居宅介護支援事業所」として頑張っていきたいと思っています。

5. 復職して今あらためて思うこと

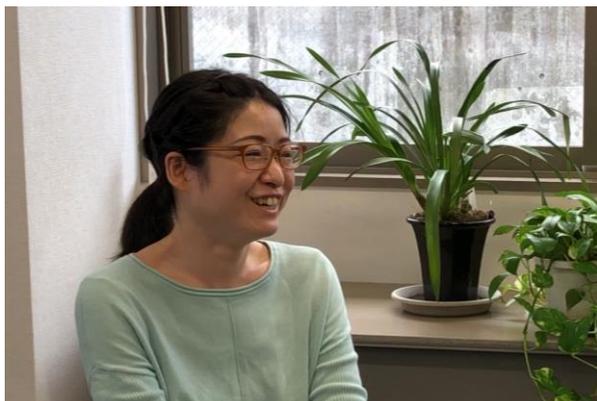
7年前は親の介護を理由に退職をしました。ケアタウンに再就職させていただいて、とても働きやすいと感じている事は、私自身今もそうなのですが、母親の介護を担う中、そういった各々の状況をみんなでカバーし、フォローし合い両立しながら働けることです。7年前に在籍していた際にも、子育てとの両立が出来ていたように、今も変わらず働きやすい魅力ある職場だと感じています。



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.014 / 2020.11.9)

居宅介護支援事業所 ケアマネージャー (常勤)

梶 さん



1. 介護職を目指したきっかけ

同居していた祖母が、私が小学校2年生の時に、脳梗塞で左半身まひになり、外出の際は車椅子を使ったり、リハビリで病院に通ったり、介護のある生活が身近で当たり前の日常で育ちました。出来ていた事が出来なくなってしまった祖母の気持ちや、母親の姿を見て介護の大変さも肌で感じるうちに、自然と介護について勉強したいと思うようになりました。

2. 業務をするうえで心掛けていること

話しやすい存在でありたいと思うので、利用者様やご家族に安心感を持っていただき、何でも不安な事は聞いていただけるように、日頃からのコミュニケーションを大切にしています。おむつ交換等、私達にとっては当たり前の事も、ご家族が初めてその場に立つと、わからない事も多いので、寄り添える職員を目指しています。

3. どんなケアマネになりたいですか

在宅サービスでは、ケアマネージャーが様々なサービスのパイプ役だと思っています。ちょっとした事でも情報を共有して、繋がりのあるサービスが提供できるように、その場その場の小さな気付きを大切にしたいと思います。

4. どんなチームになりたいですか

ケアマネージャーはそれぞれ受け持つ利用者様が違っていますが、自分の知識や考えだけでなく、他の職員の経験や考え、専門的な知識を聞きながら、特に大変なケースなど行き詰らないよう、お互いに協力しながら支援が出来るチームにしたいと考えています。

5. 他部署との関係は

デイサービスやショートステイへ、担当している利用者様に会いに行く事は、私の楽しみでもありますが、一人暮らしの方がご自宅とは違う元気な様子で他の利用者様と施設で過ごされる姿等を、直接見てご家族に報告できることは併設事業所の良さだと感じています。訪問介護についても、一番身近なサービスになりますので、生活の中での細かい気付きをタイムリーに教えてもらうことは、私にとっても勉強になっています。

6. ケアタウン成増 (職場) の魅力は

施設併設の居宅介護支援事業所なので、サービスを利用している利用者様の雰囲気やその場で感じられる事、情報の共有がしやすい事、また、事業を超えてお互いに助け合える環境がいいなと思っています。現場にお手伝いに行ったり、行事と一緒に盛り上げたり、とても楽しく仕事が出来ています。



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.001 / 2020.9.25)

地域包括支援センター (常勤)

太田 主任



1. 介護職を目指したきっかけ

以前は営業職に就いていました。もともと人と接することが好きな方でしたが、友人が介護職をしていて、楽しく職場のことを語ってくれたことが、介護職について興味をいだき、仕事として目指すきっかけとなりました。

2. 業務をするうえで心掛けていること

地域包括支援センターは相談をお受けする部署になりますので、相談者が来てよかったと思っていただけるような窓口となれるように日々心掛けています。

3. 私が考える管理職の仕事とは

職員それぞれ、こちらに入職するまでの職歴も違いますし、得意・不得意も経験によって差があると思います。得意とするところを活かせる職場づくりと、不得意とするところも職場全体としてフォローできる、また、スキルアップするための指導ができる職場環境づくりが管理職の仕事だと思います。

4. 管理職としての不安

管理職の大きな役割の一つとして、スタッフの評価があります。そのスタッフが得意とすることと、あともう少しというところをしっかりと評価できるか。その評価によっては、スタッフのやる気につながりますし、その逆もありますので、しっかりとした評価ができるかどうか、いつも不安に思っています。

5. 理想の管理職とは

私の理想の管理職は、空気のような存在の管理職が理想だと思います。いなくても仕事は回るけれども、必要なときにフォローができる、そんな管理職になりたいと思っています。

6. どんなチームになりたいですか

職員それぞれ、得意とする専門の分野がありますので、その強みを活かせるチームを作っていきたいと思っています。



ケアタウン成増 スタッフインタビュー (No.002 / 2020.9.25)

地域包括支援センター (常勤)

鈴木 さん



1. 介護職を目指したきっかけ

介護職員を目指したのは、両方の祖父がきっかけになっています。心臓病と肺がんで、最後は自宅で寝たきりの状態になりました。自宅に帰りたいという希望が二人とも強かったので、最後まで祖母が自宅で看ていました。当時は介護保険がはじまったばかりの時期で、サービスもそれほどない頃でしたが、すごいきれいというか、訪問した看護師が「病人っぽい匂いがしませんね」というくらい丁寧に介護をしている祖母の様子を聞きました。自分も少しではありますが、介護の手伝いをする中で、人の最期に携われる仕事っていいなと思ったのがきっかけです。

2. 業務をするうえで心掛けていること

現在は、地域包括支援センターで働いているので、高齢者の方々のご相談に応じることが多いのですが、いままで心掛けていることは、上司からも指導されたことではありますが、「客観的に物事を見る」ことです。心のなかにある自分の主観、例えば「かわいそう」とか「たいへんそうだな」といったものは、全部いったん空っぽにして、外に出した上で、お話しを伺うことを心掛けています。

3. どんな職員になりたいですか

包括職員は、私たちが助けるというイメージが強いと思うのですが、私はどちらかというと、実際のサービスや支援でなく、人と人とのつながりの中で、助けたり、助けってもらったりすることが出来る関係性を築ける職員になりたいと日頃思っています。私たちは支援という形で利用者様をサポートしていますが、些細な会話の中で利用者様から頂く言葉や気遣いに、私たち自身も助けられていることを実感しています。

4. チーム力が必要だと感じた出来事は

真夏の8月に、すごくゴミがいっぱいあるお宅へ支援に入ることがありました。休日であったこともあり、私一人では対応できず、上司への電話相談や日直の居宅のケアマネージャーの方にもご指示をいただきながら対応することができました。地域の中でも色々困難というか、大変になっている状況のご家族やご家庭への支援は、一人では対応できないケースもあるので、チームとして意見を出し合いながら対応できたことは良かったと思います。

5. どんなチームになりたいですか

包括では、週に1回「包括会議」といって、皆が集まってミーティングをする機会がありますが、それを一つのチームとして考えるなら、職員それぞれが経験してきたことが違うので、色々な視点が集まって、自分にはない視点が出てくるチーム、皆で色々な意見を出しサポートし合えるチーム、視点を変える事により問題解決に繋がられるチームになれたらいいなあと思います。

6. 他部署の印象は

私は包括ですが、他部署の方もそれぞれ専門の分野があり、私たちに足りないものを補っていただいているというか、お互いに補い合いながら仕事をしていると思っています。何かあったときには、相談にのっていただいたり、いつも頼りになるなと思っています。

